

ひの 議会だより

No. 108

平成28年1月

発行/鳥取県日野町議会



12月定例会 主な内容

- ・議長新年あいさつ p 2
- ・決算審査回答・補正予算 ... p2~4
- ・常任委員会報告 p 5
- ・一般質問 (6人) p6~11
- ・特集コーナー p12

「木のおもちゃづくり」
糸のこを使って製作し、おもちゃ
に興ずる会員たち。(裏表紙に関連記事)

年頭のごあいさつ



日野町議会議長
小谷 博徳

新年あけましておめで
とございます

皆さまには輝かしい新
春を迎えられたこと心か
らお慶び申しあげます

日野町議会も、昨年の
統一地方選挙により、新
しいメンバーでスタート
を切りました。

議会改革は、町民と議
会の垣根をなくすため
も、足元よりできるとこ
ろから一歩一歩取り組
み、町民目線の議会、議
員の資質向上に向けて行
動する年にしていきたい

と思います。

今年は地方創生が本格
的稼働の年となります。

町の人口減少は、産業
の衰退、地域経済の疲へ
いにつながっています。

町民が生きいきと暮ら
していくためにも人口増は
喫緊の課題です。議
会はその役割を果しなが
ら、執行部と共に町を取
り巻く課題の解決に向け
て取り組んでいく所存で
あります。

町民のみなさんの温か
いご支援とご協力を、心
よりお願いいたします。

傍聴者の皆さまからのご意見

日野町議会では、議会改革の一環として、親しみやすい議会をめざし、12月定例会から傍聴者の皆さまより議会のあり方についてご意見などをいただき、その内容を全議員で共有を図りながら改革に取り組みたいと考えています。

この度寄せられた内容

- 傍聴者が少ない
- サンブラは責任を持って取り組んでもらいたい
- 住民の声を聴き一般質問を
- 質問時間が長すぎる(2人)
- 同じ内容の質問は調整できないか(2人)
- 開会時間を早くできないか

平成27年第7回議会 12月定例会

会期12月11日～17日(原案通り可決しました)

◆一般会計補正予算

3677万円を減額し予
算総額を34億7328万円
とする。

◆歳入の主なもの	
○国庫支出金	237万円
○県支出金	606万円
○町債	3030万円
それぞれ減額する。	

◆歳出の主なもの

- ・町移住定住・空き家対策事業 300万円追加
- ・交流促進施設喫煙室整備事業 150万円追加
- ・六次産業化支援事業 25万円追加
- ・町道照明施設整備事業 205万円追加
- ・集落営農組織支援事業 80万円追加
- ・日野町・江府町・日南町衛生施設組合負担金 3268万円減額

特別会計

- 日野町簡易水道特別会計補正予算
- ・40万8千円を追加、予算総額を9851万8千円とする。

歳入

- ・繰入金40万8千円を追加する。

歳出

- ・公課費(消費税相当分)40万8千円を追加する。

条例の制定、一部改正

条例の制定 と内容

○日野町の行政手続にお
ける特定の個人を識別す
るための番号の利用等に
関する法律に基づく個人
番号の提供に関する条例
の制定。

内 容

行政手続における特定
の個人を識別するための
番号の利用等に関する法
律により、個人番号を町
独自の事務に利用する
場合や異なる事務や部
局間で特定個人情報の授
受を行う場合は、その旨
を条例で規定する必要
があるため条例を制定す
るもの。

税条例の一部改正内容

内 容

○日野町税条例の一部を
正する条例の一部改正

地方税法の施行規則等
の一部を改正省令が平成
27年9月30日に交付さ
れたことに伴い、日野町
税条例の一部を改正する
もの。

番号制度導入に伴い町
税に係る申告書等の様式
に提出者の法人番号を記
載する欄を加えて、変更
する。

規約の変更に関する協議

○鳥取県西部広域行政管
理組合の共同処理事務及
び規約を変更する協議

○鳥取県西部広域行政管
理組合視聴覚ライブラリー
の廃止に伴う財産処分に関
する協議

内 容

鳥取県西部広域行政管
理組合視聴覚ライブラリー
を廃止しようとするため、
地方自治法の規定により
規約を変更する必要があ
り、そのためには関係市
町の議会の議決が必要
であるため。

内 容

平成27年度末をもって
鳥取県西部広域行政管
理組合視聴覚ライブラリー
が廃止されるに伴い、所
有する財産(映像・音響機
器、映写フィルム、ビデオ
等)の処分について関係
市町の議会の議決が必要
であるため。

通知カード

個人番号 1234 5678 9012

氏名 日野 太郎

住所 鳥取県日野郡日野町〇〇1番地

平成〇年〇月〇日生 性別 男 日野町長

発行 平成27年10月〇日 A123456789

▲通知カード(イメージ)

▼個人番号カード(イメージ)

表▶

氏名 番号 花子

住所 〇〇県〇〇市△△町◇丁目〇番地▽▽号

性別 女

平成元年3月31日生 2025年3月31日まで有効

〇〇市長

裏

0123456789ABCDEF 1234

このカードを所持された方は、お手数ですが、下記連絡先までご連絡ください。
【連絡先】個人番号カードコールセンター 0570-783-578(24時間受付)

田 1234 5678 9012

氏名 番号 花子

平成元年3月31日生

◎個人番号カードには、マイナンバーと氏名、住所、生年月日、性別、顔写真およびICチップが付いています。マイナンバーが必要な手続きの際など、本人確認がこれ1枚で可能です。



ライブラリーの映像を見ながら研修

平成26年度決算審査 議会の指摘事項に対する町の回答

Q 一般会計の未収金徴収

A 滞納金は重複滞納者が多いことから、特別徴収チームによる取り組みを継続し、納税義務意識の徹底を図ります。

Q 住宅新築資金等貸付金・災害
援護資金貸付金の未収金

A 大半が滞納繰越金であり、重複滞納者が多い状況です。特別徴収チームによる取り組みを継続し回収に努めます。

Q 住宅使用料等未収金徴収

A 特別徴収チームや担当職員が定期的に戸別訪問をし、返済計画について協議しながら、滞納金等未収金の回収に努めていきます。

Q 簡易水道特別会計未収金

A 未納者には法的な措置も

取り入れながら、新規滞納者を出さないよう努めます。

Q 地域活動支援交付金制度の継続等の検討

A 平成28年度からは、より地域の活性化に資する制度となるよう必要な見直しを行います。

Q タクシー利用者補助金制度に関する取り組み

A 引き続き利用者のニーズの把握に努め、より適切かつ効果的な制度運営となるよう努めます。



Q 鈴原橋の種粉、苗の購入

A 鈴原橋の種子生産を継続するとともに、今後は、さらに町の特産品として、多くの農家が種粉、苗を購入できるように生産拡大に努めます。



Q ラフティング活動に対する支援

A 関係者と常に情報交換をしながら、必要な支援を検討していきます。

Q 高齢者見守り支援や買い物サービス実証実験、来店見守り

A 今後も協力事業者の拡大に取り組みたいと思います。

Q 契約等の選定については、町内業者の指名を考慮しながら、基準を定めることについて

A 町内業者の育成、経済性、緊急性等を考慮し、適正執行に努めます。

Q 国民健康保険税の滞納金の徴収

A 特別徴収チームによる取り組みを継続し、滞納金等未収金の徴収に努めるとともに、納税義務意識の徹底を図り、新規の滞納世帯が生じないよう努力いたします。

【総括意見】

Q 財政の健全化について

A 数値的には安定してきた。財政推計を基本としながら、現在実施するさまざまな施策をさらに充実し、新たな発想による事業展開を図ることにより、安心安全で住みやすいまちづくりを推進してまいります。

Q 町ホームページの情報発信力向上

A 情報発信に関するホームページの活用を拡充し、移住定住、宿泊交流施設を紹介するページを作成し、内容の充実にも努めます。

総務経済常任 委員会活動報告

平成27年10月20日～21日
八頭郡若桜町・岡山県
西栗倉村で研修

子育て支援・木質バイオマス資源活用

八頭郡若桜町

① 移住・定住への取組み
住宅団地に、定期借地権付住宅分譲、おためし住宅、空き家対策等推進委員設置、保育料無料化、医療費助成、給食費半額補助、高校通学費助成等、住まい・子育て支援で移住定住の促進を施策



木材はすべて資源として有効活用する

② 子供が木に触れながら育つ環境の整備と、木質バイオマス

の中心に位置付ける。

② 地場産業の育成

農林業を基幹産業として活用を図り、バイオマス資源活用事業に着手している。

「道の駅若桜」を活用し、地元産品を販売。

③ 観光開発振興

町並み保全に尽力され古い面影が残っている。

水ノ山、宿内、岩屋堂、若桜鉄道で年間30万人、そのうち宿内10万人を目標に推進を図る。

岡山県西栗倉村

① 森林から始まる村づくり
森林所有者、村、森林組合の三者で契約し、森林を10年間管理する。

国、県の補助金を活用し、「㈱トビムシ」が運営する「共有の森ファンド」を活かした投資を募集して運営。
② 子供が木に触れながら育つ環境の整備と、木質バイオマス

教育民生常任 委員会活動報告

平成27年12月14日
日野高校について
意見交換会

による町内公共施設への発電供給を計画。
③ ローカルベンチャー企業13社で雇用創出117人、高齢化率が34%に低下。両町村とも、農林業を活かした移住定住の取り組みが先進的で、これを参考に町づくりに活かします。



日野高校について意見交換

委員会では、企画政策課長、教育課長、片平日野高校魅力向上コーディネーターから見た「日野高校の現状」について意見交換会を実施しました。

委員会 日野高校魅力向上の取り組みは

答 日野郡の「日野高校魅力向上支援連絡会」があるが、学校側から11月に初めて出席があり取り組みが遅れています。

高校は、「どのような高校、どう生徒を育てる」という視点で、日野高校生が卒業後、日野高校で身につけたことなど自信を持っていえることが必要です。そのためには、日野高校生は地域を知り、地域は日野高を知るための連携や交流を図る活動が必要です。

委員会 地域連携や交流での課題は

答 コーディーネーターは26年9月から配置されたので、27年度の学校行事に参加できず、生徒は地域に出かけたり、出張販売等の実習ができませんでした。

委員会としては、今の取り組み、課題を聞き、一年目の成果は出ていると思います。引き続き、町としての日野高校への応援、支援が必要と感じました。



松本 利秋議員

地域活性化交付金の継続を

答 取り組みを支援したい



家族で楽しむ「地域イベント」参加者

議員 地域等を元気にする、地域活性化交付金が27年度で切れますが、継続と交付金の内容をどのように考えておられますか。

町長 この交付金は一定の成果があったものと認識しており、新年度以降も地域が元気になる取り組みに対して、支援を行っていきたいと考えます。

① 先進的、先駆的な取り組みや新たな取り組みを最優先する。

② 親睦のみを目的とする事業は対象としない。

議員 地域の伝統行事の保存、他の自治会との連携や外部との交流。

④ 一律に支給はしない。などの考えのもとに、より地域の活性化に資する制度としていきたいと考えています。

議員 自治会の親睦を深めるものは、交付金の対象外と言うことですが、自治会の活性化はそこから生まれるものではないでしょうか。

町長 親睦からももう少し踏み込んで、こういうことをやりたいと、考えを事業まで



でこぎ着けてもらいたいと思います。

旧サンプラザ有効活用の運営形態は

議員 地方創生戦略の主要な柱である、旧サンプラザの有効活用検討委員会がスタートしました。スケジュール、そして運営形態をどのように考えておられるか伺います。

町長 有効活用検討委員会を11月に設置。現在受付中の住民からの意見募集を進め、来年4月、5月頃を目途に活用案を取りまとめ、町へ提案頂きたいと考えています。

建物取得は、競売等の関係で年度をまたぐことにならないのではないかと考えています。

また、運営形態については、どのような活用方法とするかによって決まりますので、活用方法と併せて今後検討していくことになると思います。

学力テストの評価と検証は

答 小学校全国並み 中学校は厳しい状況



中原 明議員



日野中学校授業風景

議員 平成27年全国学力テストの結果を教育委員会では、どんな評価と検証をされましたか。

教育長 小学校は、算数が全国平均を上回り、国語、理科は全国平均並みです。中学校は、国語、数学、理科が全国平均を下回り、厳しい状況と捉えています。

議員 公費60億円の事業に説明責任を果たすためには、数値を公表する事が、学力向上に役立ちます。

教育長 調査の目的は、学力、学習状況の把握。その結果を分析し施策の成果と課題を検証し、改善を図る。説明責任を果す観点から棒グラフにした。

議員 中学校の鳥取県正答率は国語A全国16位、国語B、17位、数学A 30位、数学B 18位、理科30位です。鳥取県平均とも対比して再考されませんか。

教育長 全国の方が学校数の総トータルで出ており、ベターと考えます。



根雨小学校

議員 家庭学習強化月間等を設定した取り組みの成果はどうでしょうか。

教育長 中学校は、家庭学習目標を2時間として、週末に各学年で集約し、指導評価を重ね学力も向上しました。小学校は、月初めに期間を設定し、家庭での生活習慣の見直しと、家庭との連携を取り、成果が出てきております。

議員 「日野町子ども15年プラン」は、家庭学習の内容や方法は示してあるが、成果の検証の方法がない。見直しませんか。

教育長 基本的に5ヶ年計画の最終年であり、再度検証しながら、今後の計画づくりを進めます。



安達 幸博議員

塔の峰の整備が必要

答 調査費を検討

議員 塔の峰公園のできた経過と現状認識、意義、整備についてお尋ねします。

町長 長谷部信連公が京都を偲び、多武の峰と名づけられ、昭和29年に日野郡仏教会が、世界平和と万民の福祉の増進、殉国者の慰霊を祈願して、二部出身の著名な彫刻家、辻晋堂氏に作製を依頼して平和観音像が建立され、以来塔の峰と呼ばれるようになりました。

近年、町の財政難などから公園の整備が徐々に行き届かなくなり、現在では平和観音像のある頂上や坂道の通路などは雑草が生い茂り、訪れる人も少なくなっています。

世界の平和を祈って、平和観音像が建立された公園の意義も踏まえ、今後どのように整備していくべきか、来年の当初予算に調査費の計上を検討します。



開願法要でにぎわう塔の峰公園(昭和29年)

子育て支援

議員 フィンランドの子育て支援(ネウボラ)を、国・県で推奨しています。本町でも取り組みませんか。

町長 平成28年4月から、子育て世代包括支援センターとして、継続的な支援を強化します。

議員 ネウボラは非常に語呂がいいですね。ネウボラという子育て支援は、同じ

相談員が同じ世帯を担当します。

このような取り組みにしませんか。

町長 このネウボラっていうのは非常に語呂がよく、本町にぴったり合う名前です。ですので使いたいと思います。

健康福祉課長 指摘のように、一つの家庭について、特定の相談者が継続的に支援するネウボラの制度に、と思います。



「ふるさと納税」の積極的展開を

答 発信力が重要と考えます

議員 日野町の「ふるさと納税」この7年間の取り組みについて伺います。

町長 初年度は36件、179万5000円でした。昨年度は52件、147万5000円で、過去7年間は、大きな変化はありませんでした。

議員 ご支援を頂いた皆様方のようなお礼をされたのか具体的に伺います。

町長 皆様から頂いた寄付は、「愛と元気の日野町ふるさと基金」に繰り入れ、「子育て支援と教育」、「高齢者福祉」等の地域づくりの為に活用しています。お礼ですが、1万円以上寄付をされた方に対して、町長自筆のお礼状と、金額に応じて特産品やお土産など17種類の記念品を用意しています。

金川 守仁議員

議員 取り組みを町内外の

人にどうやって知って頂くか、「広報ひの」特集等、展開を伺います。

町長 27年度実績は、すでに昨年度の2倍となっています。制度改正等の取り組み状況を知っていただく為に「広報ひの」への掲載は行いたいと思っています。

議員 広島県神石高原町の「ペット等殺処分ゼロ」、江府町「ふるさと歴史資料



館再生」など真心戦略に大きな寄付が集まっています。広報活動と寄付金決算報告など、具体的な展開を伺います。

日野町を明るく出来る施策だと思っています。

企画政策課長 今後、件数等も増えると予測しますので、今までどおりで良いか検証し考えたいと思います。



図書館に充実した書籍を揃える為にも活用する「ふるさと納税」



松尾 信孝議員

サンプラザ検討委員会の 進め方は

答 町民の意見を聞きながら



立地を活かし、町の活性化の拠点に

議員 第一回目目の検討委員会は11月に開催されているが、そのメンバーはようやく12月になって議会で報告された。委員の一部を公募とする考えはありませんでしたか。行政懇談会で「検討委員会は町民に公開する」と言いながら、実際には事前に町民に対して開催の案内がありませんでした。

副町長 情報の秘密性もありメンバーの公募は考えなかった。一回目の委員会開催は町のホームページで案内しました。

議員 町内にインターネット環境が整備されていない状況で、ホームページでは町民に知らせたことにはならない。サンプラザ再活用事業の成功は、ひとえに日

議員 町内にインターネット環境が整備されていない状況で、ホームページでは町民に知らせたことにはならない。サンプラザ再活用事業の成功は、ひとえに日

野町民が丸となって盛り上げることにかかっていると考えます。そのためには常に進捗状況を町民に知らせ、そのつど意見を聞きながら進めていくことが必要と考えます。

日野町内の公衆トイレの現状について

目かくしもなく、ご婦人方には使いづらい。トイレも重要なおもてなしと考え整備に取り組んでいただきたい。

町長 必要性は認識しているので、アイデアを駆使して、倉吉市とまではいかないうちでも、日野町版のトイレを今後考えていきたい。



オシドリ観察小屋仮設トイレ

議員 観光を売り物にして町外からの訪問者を誘致しているにしては、町内の公衆トイレの現状は貧弱ではないか。例えば使えるとされる町公舎についても、休日や休館日には使えない。また、オシドリ観察小屋の仮設トイレも、水洗との触れ込みでも、入口の

空き家対策に条例が必要

答 「特措法」で対応できる



佐々木 求議員



調査をすすめる空き家

議員 空き家調査員の配置で、どこまで調査が進み、危険家屋、空き家登録、持ち主の対応はどこまで進んだのか。今後の対応を伺います。

り、担当課で更に追跡調査を行います。空き家登録28戸のうち、13戸が入居済み、見学・相談が徐々に増えています。適宜登録物件を増やしていきたい。危険家屋の追跡調査、確認・連絡・相談の取り組みもおこないます。具体的には条例も必要だ

町長 12月7日全域の掌握が終わり、217戸の空き家を確認しました。危険性の高い家屋が数件あ

いうときには条例も必要だと考えるが、国の法律にのっとってやれば出来ないことはないと思います。

地域支援をどうする

議員 地域活性化交付金は、異論もあつたが多くの成果を上げてきました。この制度の継続をどう考えていますか。地域の集会所の雨漏り、建て替えの時期の来たものもあり、併せて考える必要があります。



地域活動の餅つき大会

町長 新年度も、地域が元気になる取り組みに対する支援は行っていきたい。

過去を検証して見えてきた課題を踏まえて、親睦のみを目的とする事業は対象としない。先進的、先駆的な取り組みを最優先とし、伝統行事の保存、外部との交流事業を対象とし、活動の実施や内容を問わず、一律な単なるバラマキは行わない。より地域の活性化に資する制度にしていきたい。集会所の問題は自治会からも聞いており、手を差し伸べる必要があります。

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介しています。

楽しく作って遊ぶ喜び

―木のおもちゃづくりグループ―

保育所から始まった「木のおもちゃづくり」。30年近くになりました。毎月1回、休むことなく図書館車

庫で教室を開いています。

メンバーはみんな木のおもちゃが大好きで、作るこ

とにはまって、おもしろさと奥深さを感じながら続けています。

子どもからお年寄りの方まで年齢に関係なく、地元の方だけでなく町外からも来られます。

作業する糸のこは音も大きいし、歯が動いて切る機械なので「怖い」と思われる方もありますが「無心に

グループの皆さん



なれる」との感想も多く、ケガもほとんどありません。

向かうと集中できるミシンのようなものと思います。

皆がコミュニケーションをとりながら作る喜びをかみしめ、楽しいひとときを過ごしています。

月1回の教室のほかに組み木デザイナーの小黒三郎さん(倉敷市)、おもちゃ作家の若林孝典さん(津山市)を招いて、ワークショップも開催しています。

小黒さんの根雨小学校6年生の組木授業は11年になります。

若林さんには夏休み企画として、からくりの動くおもちゃづくりを開催していただいています。

二人には新井三重子さん(故人)の「お雛さま展」でもお世話になっています。

高齢者誕生月プレゼント、赤ちゃんへのブックスタートでのココロ車、人形劇のお礼のプレゼントなどを作っています。

「3H(心、頭、手)を使っ



て作る」と小黒さん。「作る」という作業は、人を元気にする力があると若林さん。

木のおもちゃの温かさを感じ、作りたいと思われたら気軽に寄ってみてください。創造と遊ぶ楽しさを共に体験しましょう。

「トリアート・展示の部」

○2月5日(金)～8日(火) 米子市美術館に展示します。ご覧ください。

(木のおもちゃづくり

グループ)

あとがき

町民の皆様には、ご家族おそろいで輝かしい平成28年の新春を迎えられたことと存じます。

さて、去年を振り返ってみますと、地球の温暖化の影響でしょうか、天変地異があちらこちらで発生しました。今年も、穏やかな年であって欲しいものです。

元日は天候にも恵まれて、開運・金運の金持神社は大勢の参拝者で賑わいました。

個人の願いはもとより、議会は、安心・安全で暮らしやすい日野町になるよう誠心誠意がんばる所存です。

その一歩として広く町民の声を聴く事に力を入れ、皆様の夢をかなえたいと存じます。

(松本利秋 記)

議会広報常任委員会

委員長 佐々木 求

副委員長 松尾 信孝

松本 利秋

中原 信男

金川 守仁

山形 克彦